

# 非稼働病床の再稼働について

## 合志第一病院



その人らしさを  
ささえる手

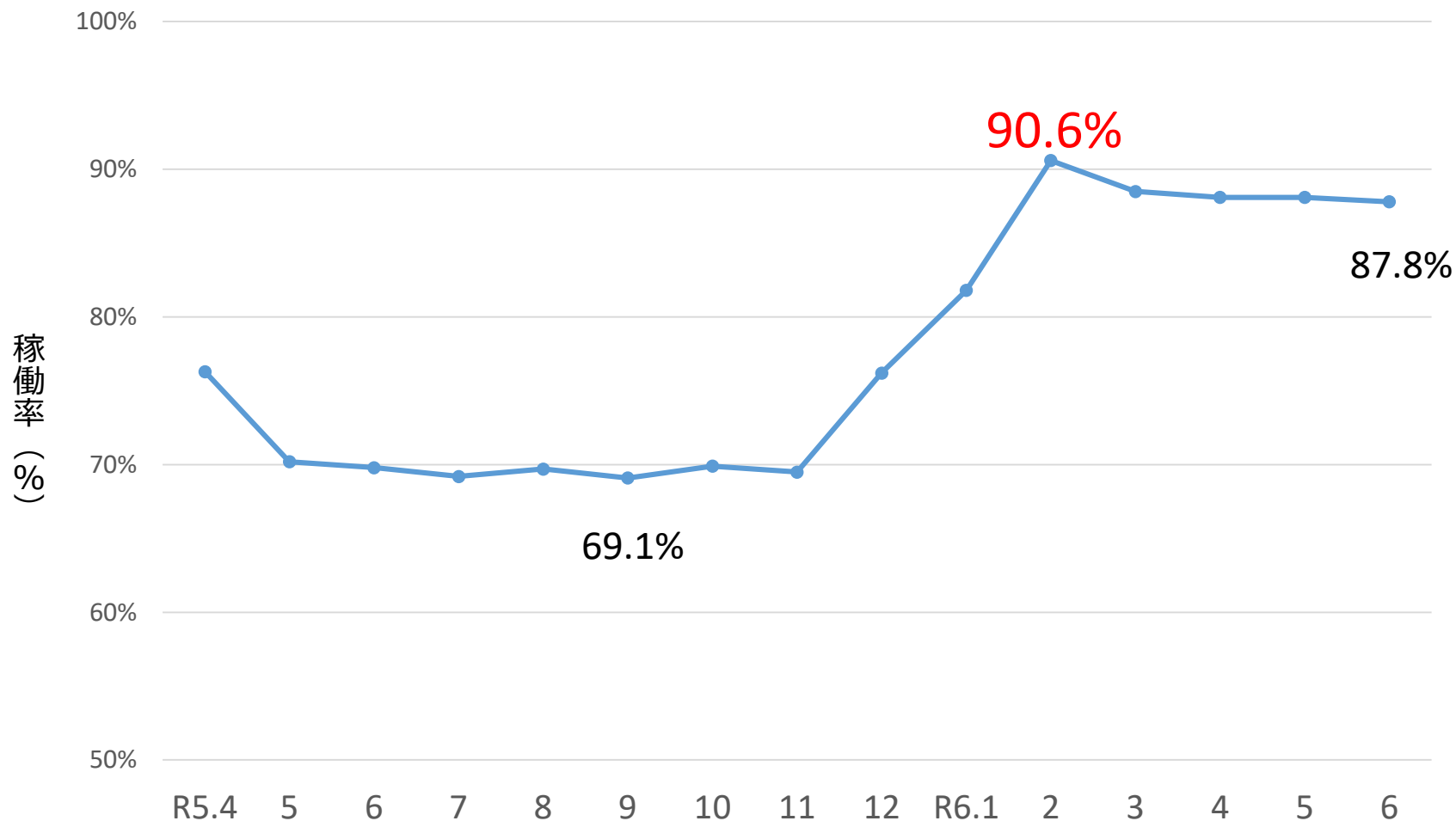
# 令和5年4月～ 病床別稼働率

	一般病床	地域包括 ケア病床	医療療養病 床	緩和ケア病 床
病床数	18床	18床	35床	27床
稼働率 R5.4月～R5.12月	78.1%	72.9%	59.1%	81.0%
稼働率 R6.1月～6月	86.9%	87.7%	84.9%	91.0%

令和6年1月から病床稼働率は**上昇傾向**

# 令和5年4月～ 入院患者状況

## 病院全体の病床稼働率（R5年4月～R6年6月）



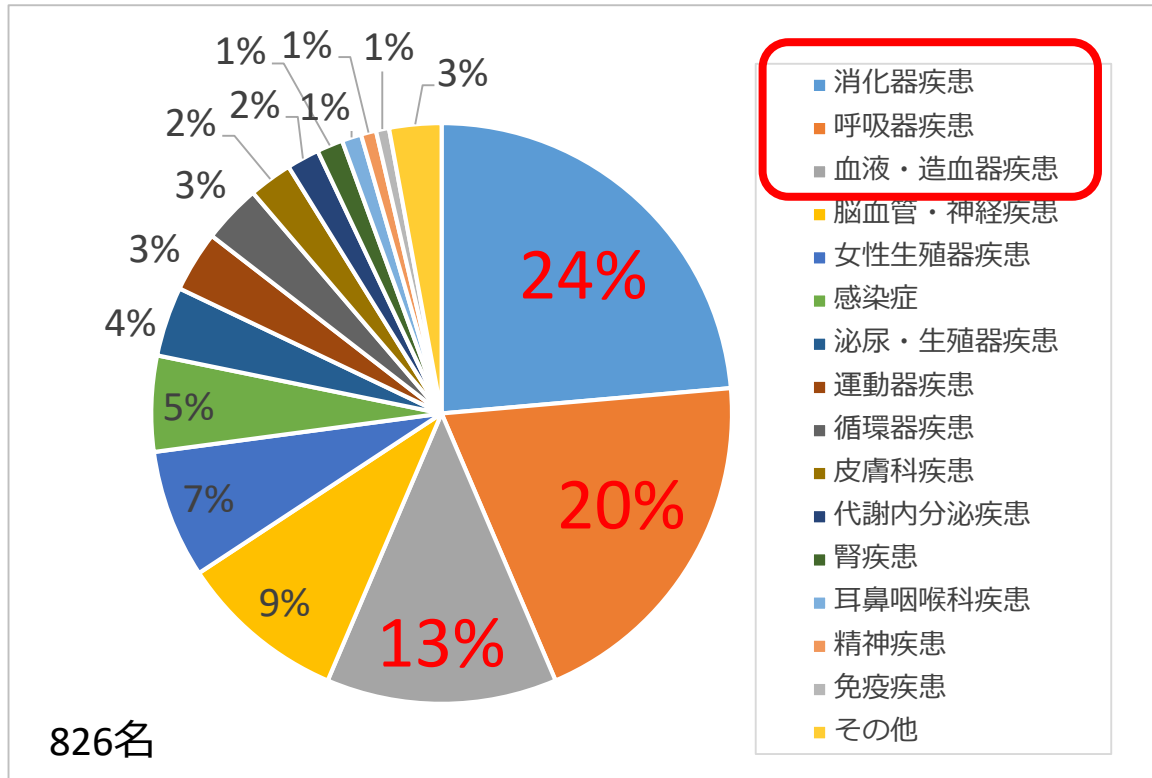
病床稼働率は  
**上昇傾向**

### 【要因】

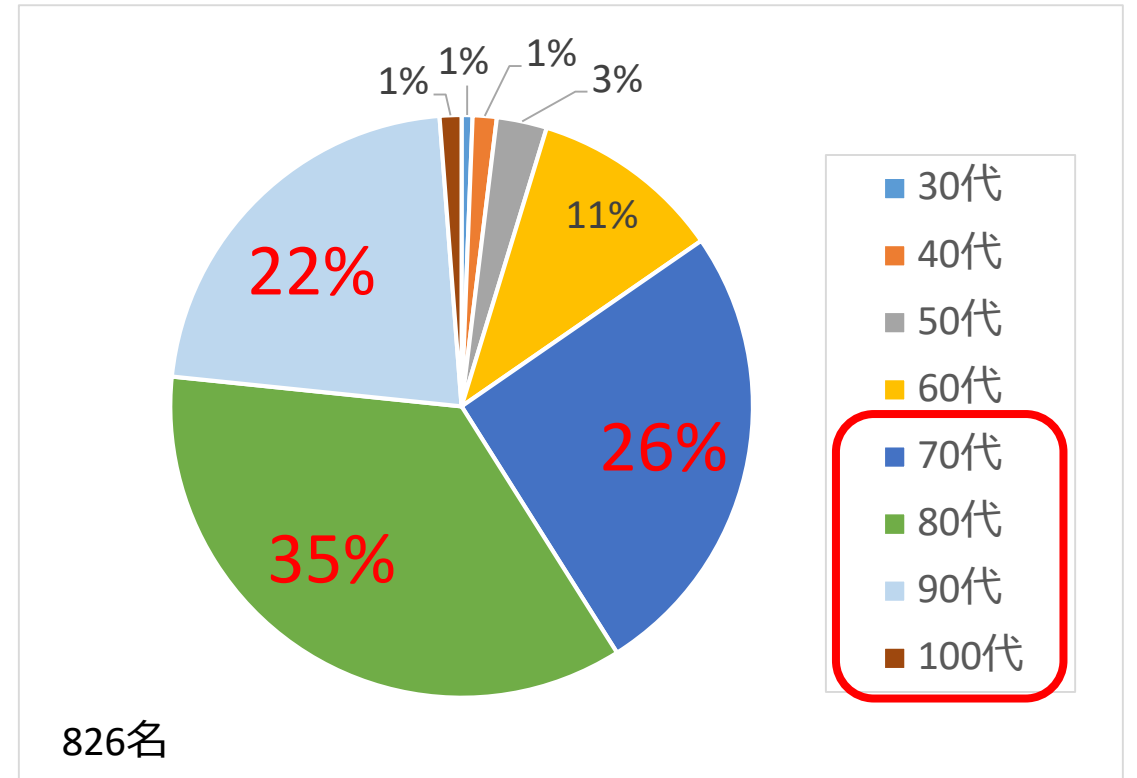
- ・ コロナ対策としての  
**面会制限を解除**
- ・ かかりつけ医からの  
**紹介の増加**
- ・ **人員の確保**

# 令和5年度 入院患者状況（疾患・年代）

## 疾患別入院患者割合



## 年代別入院患者割合

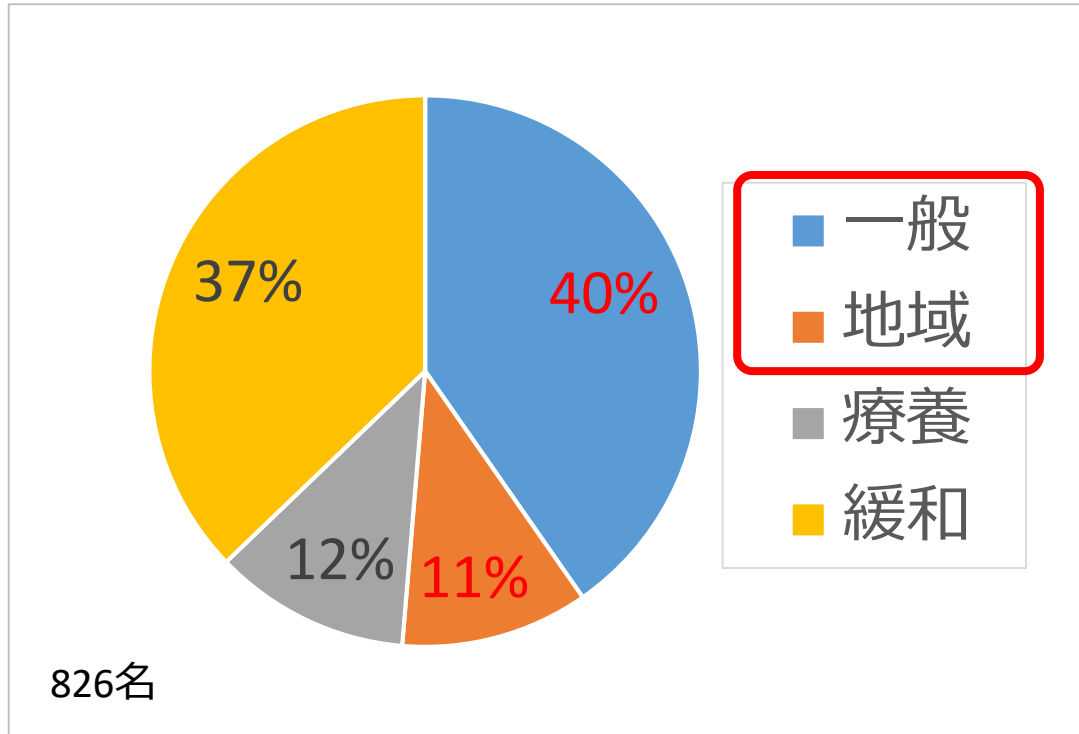


入院患者の**57%**は、**消化器疾患、呼吸器疾患、血液・造血器疾患**の患者

入院患者の**84%**は**70代以上**の患者

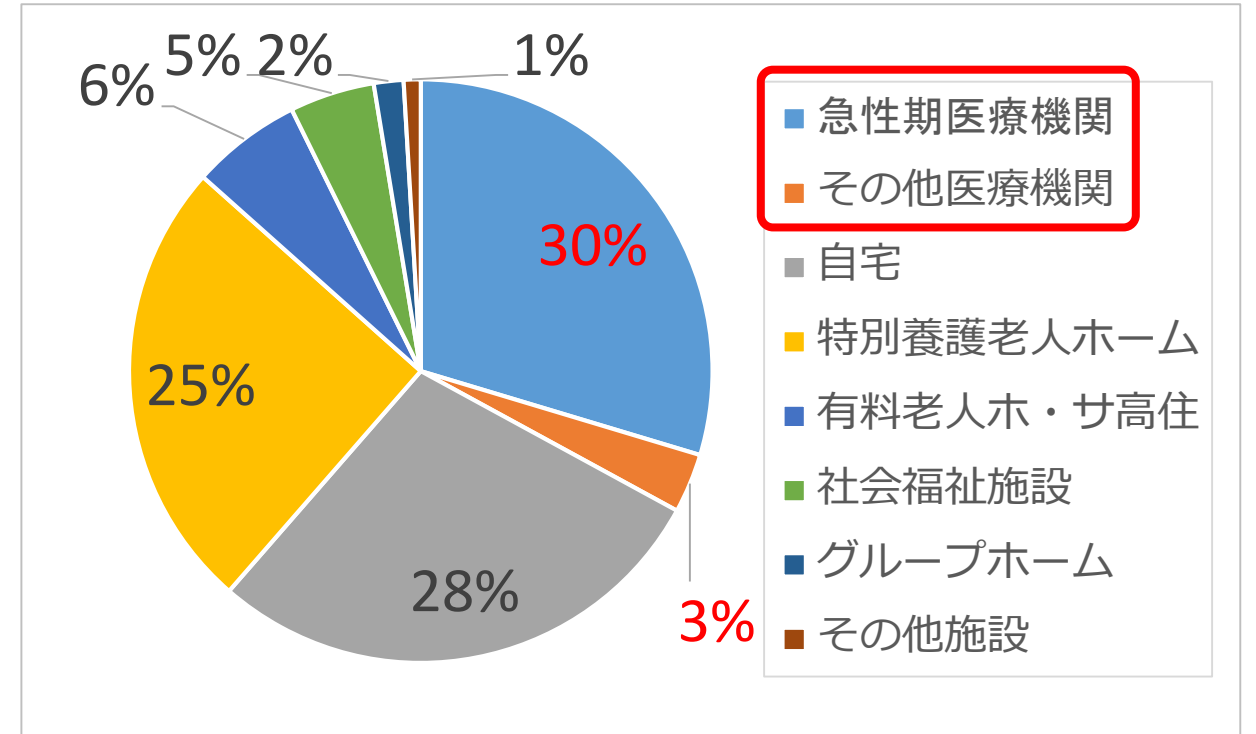
# 令和5年度 入院患者状況（病棟、入院経路）

## 病棟別入院患者割合



一般病床、地域包括ケア病床への入院が**51%**を占めている。

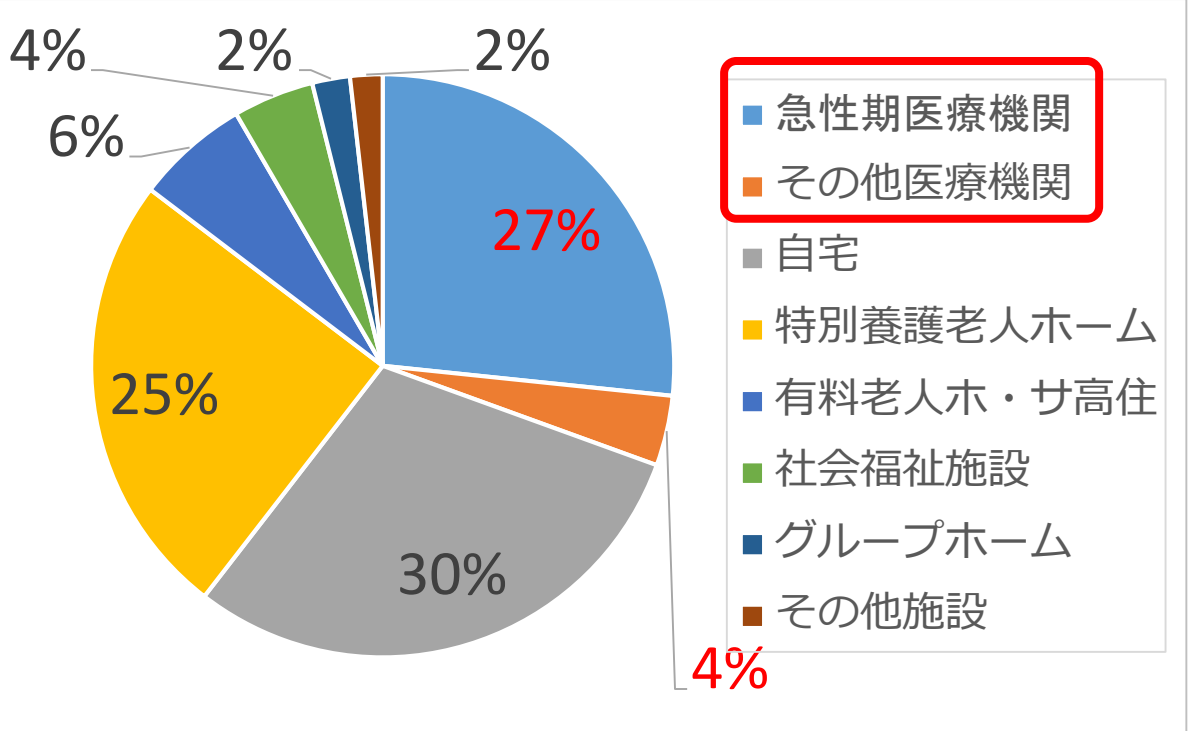
## 入院経路別の割合（全体）



**33%**は急性期医療機関等からの転院  
67%は自宅や高齢者施設からの入院

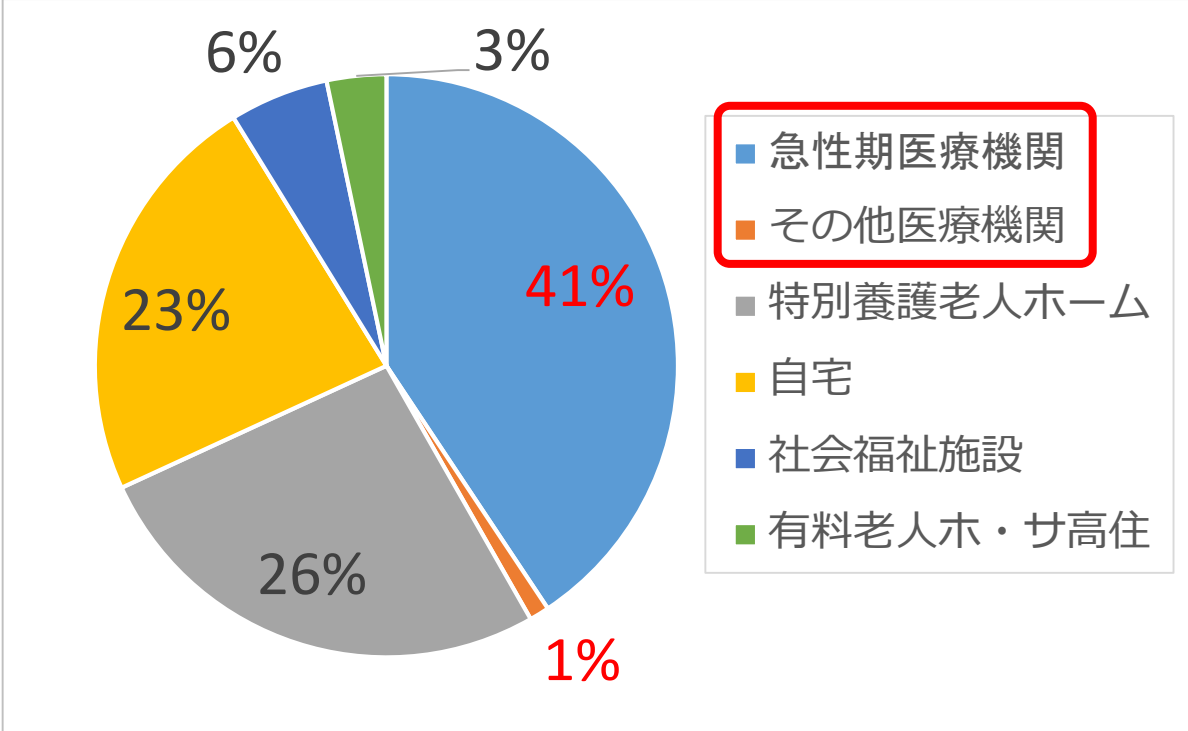
# 一般病床・地域包括ケア病床への入院経路

## 一般病床



一般病床への入院のうち、**31%**が急性期医療機関等からである。

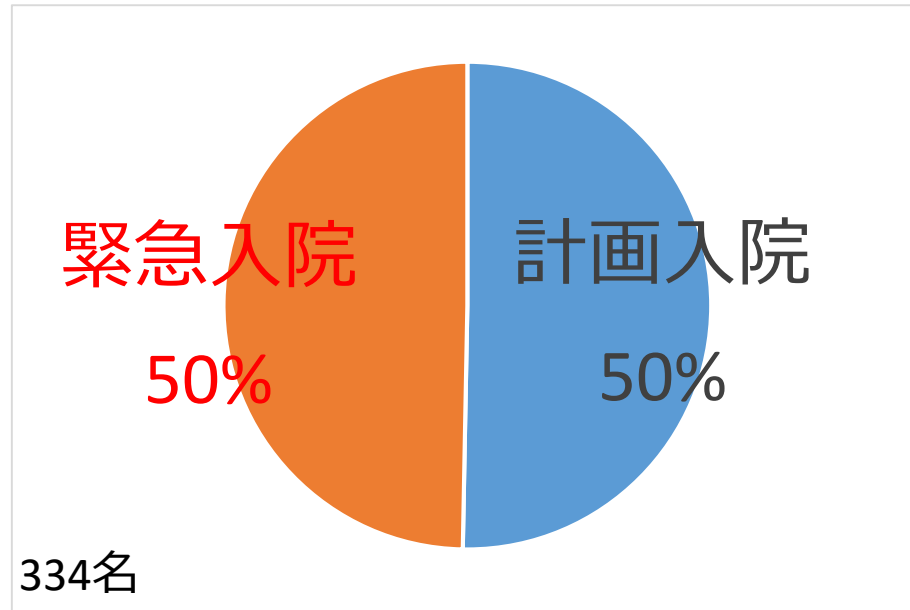
## 地域包括ケア病床



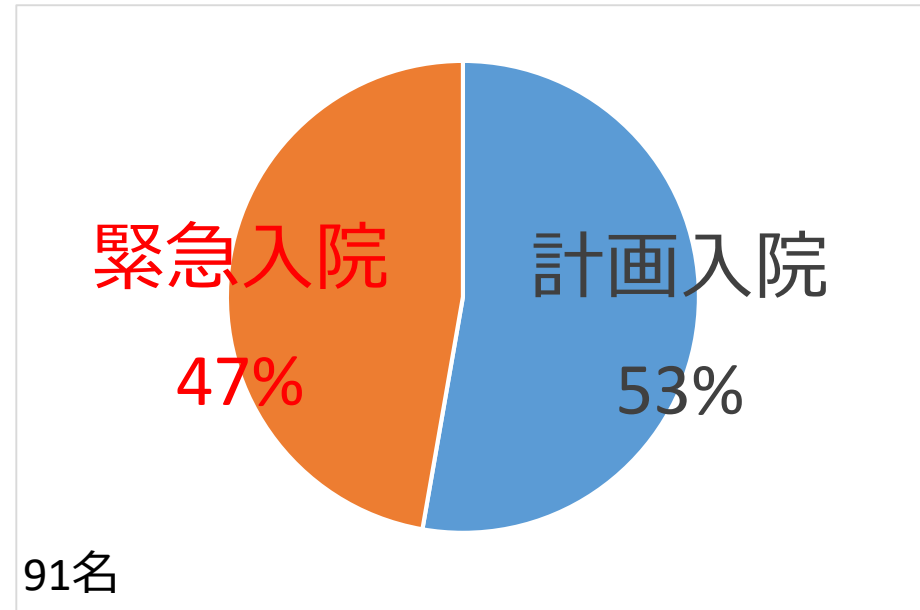
地域包括ケアへの入院のうち、**41%**が急性期医療機関等からである。

# 令和5年度 入院患者状況（入院形態）

## 一般病床



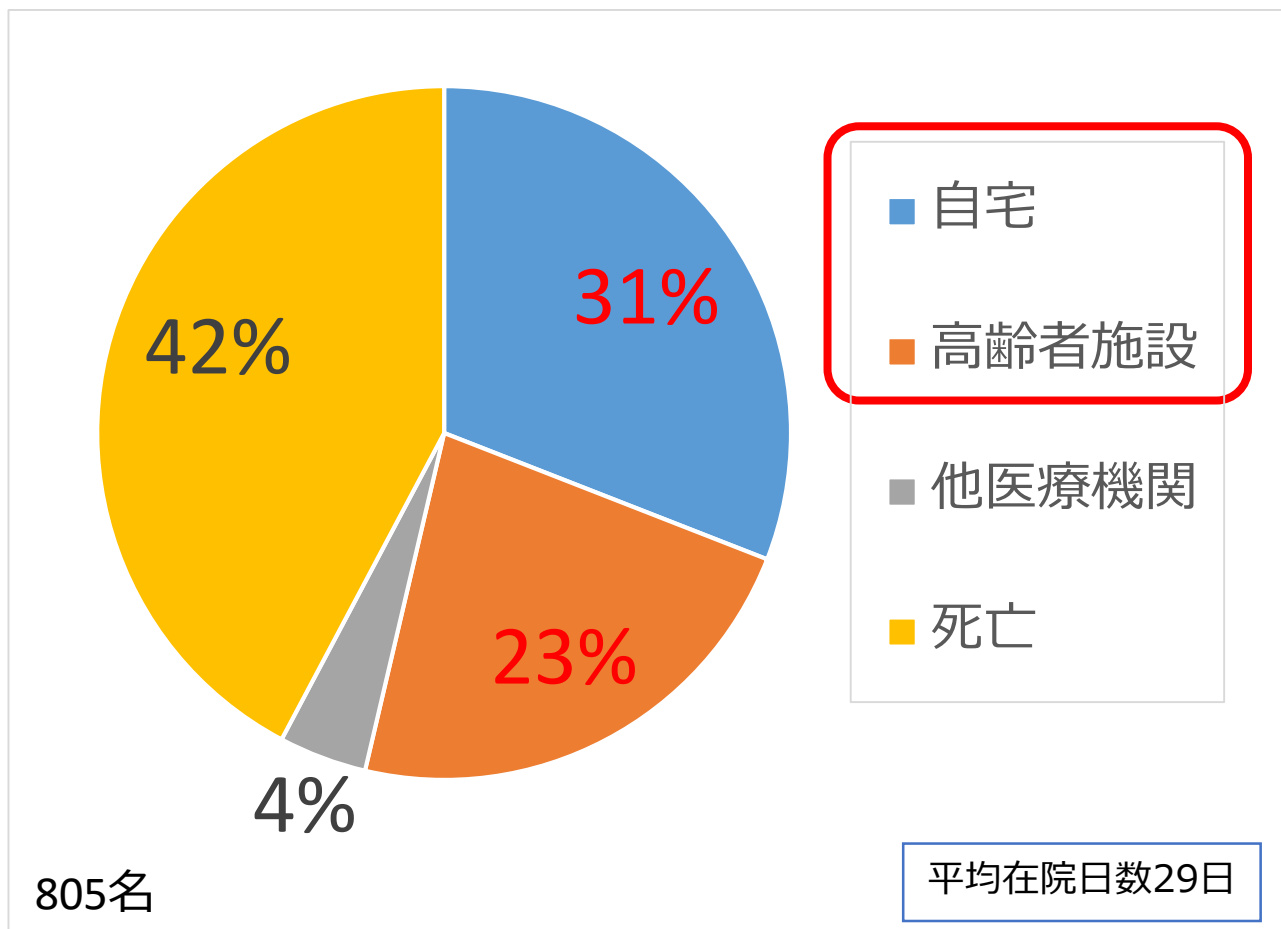
## 地域包括ケア病床



一般病床・地域包括ケア病床とも、約半数は急性期医療機関等  
や施設からの計画入院、約半数が緊急入院（サブアキュート）

# 入院患者の退院先

## 令和5年度全入院患者の退院先



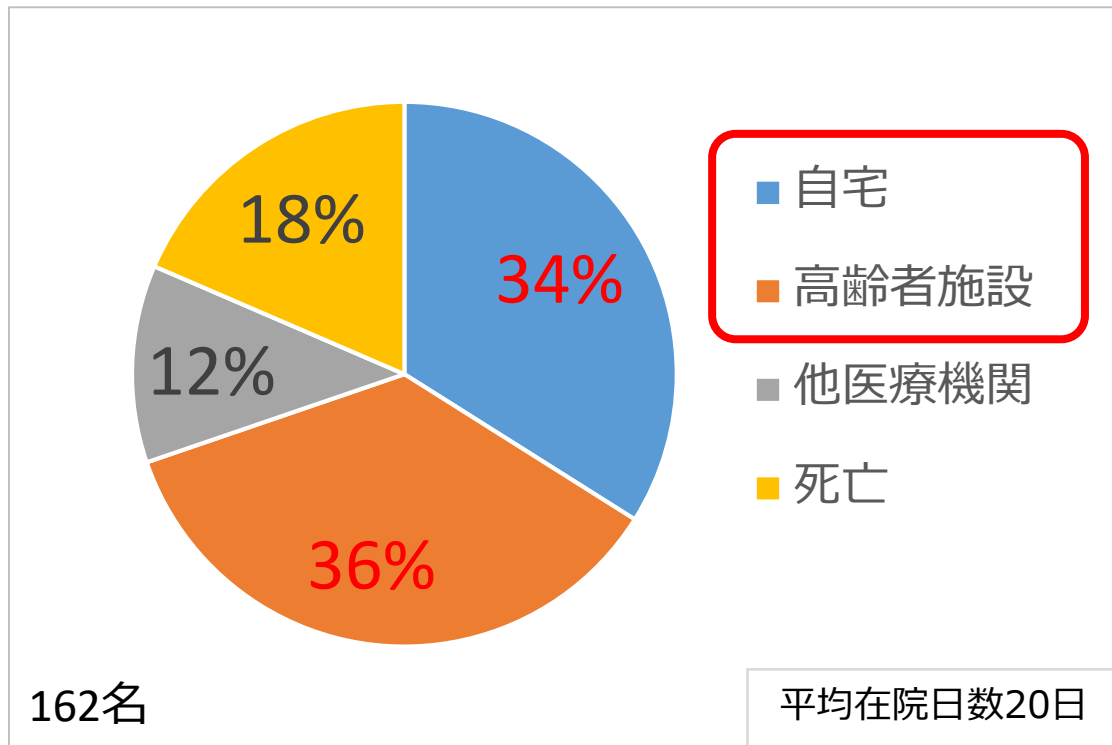
全入院患者のうち**54%**は**自宅**  
または**高齢者施設**への退院

緩和ケアの患者を多く受け入  
れている（入院患者の37%）  
ため死亡退院が多い



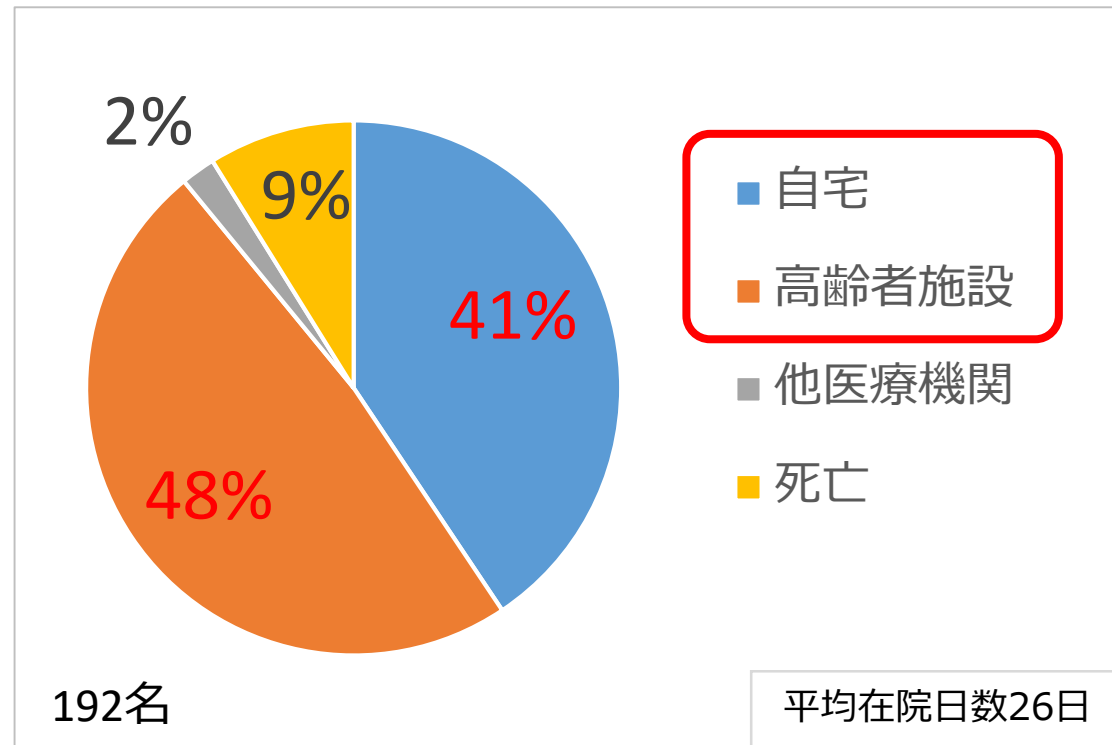
# 一般病床・地域包括ケア病床からの退院先

令和5年度 一般病床からの退院先



一般病床入院患者のうち  
**70%**は、**自宅・高齢者施設**へ退院

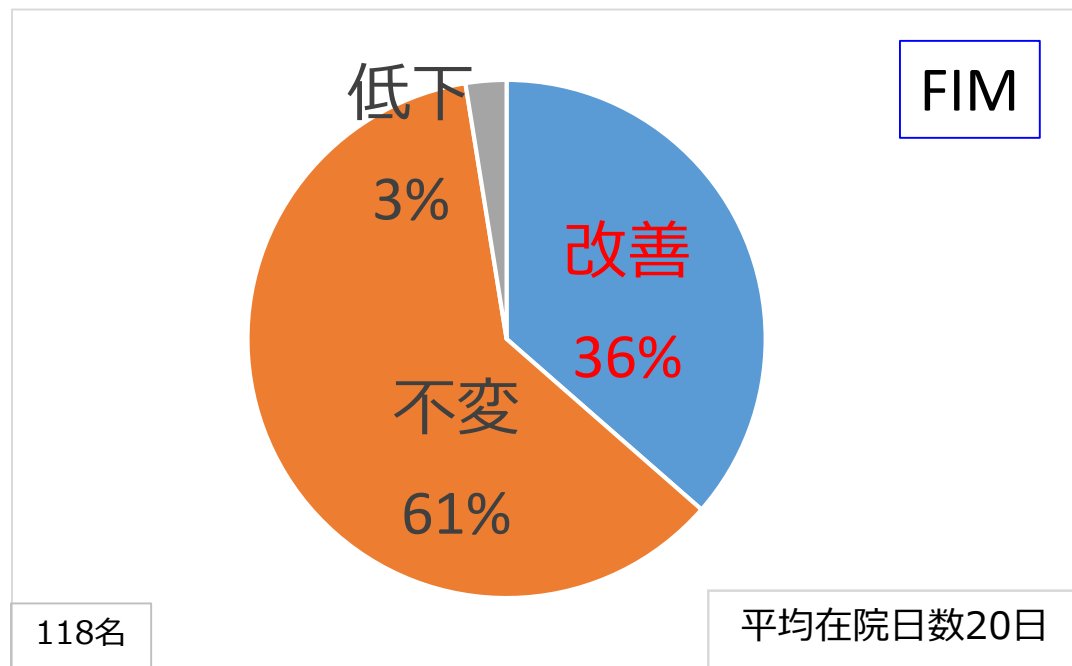
令和5年度 地域包括ケア病床からの退院先



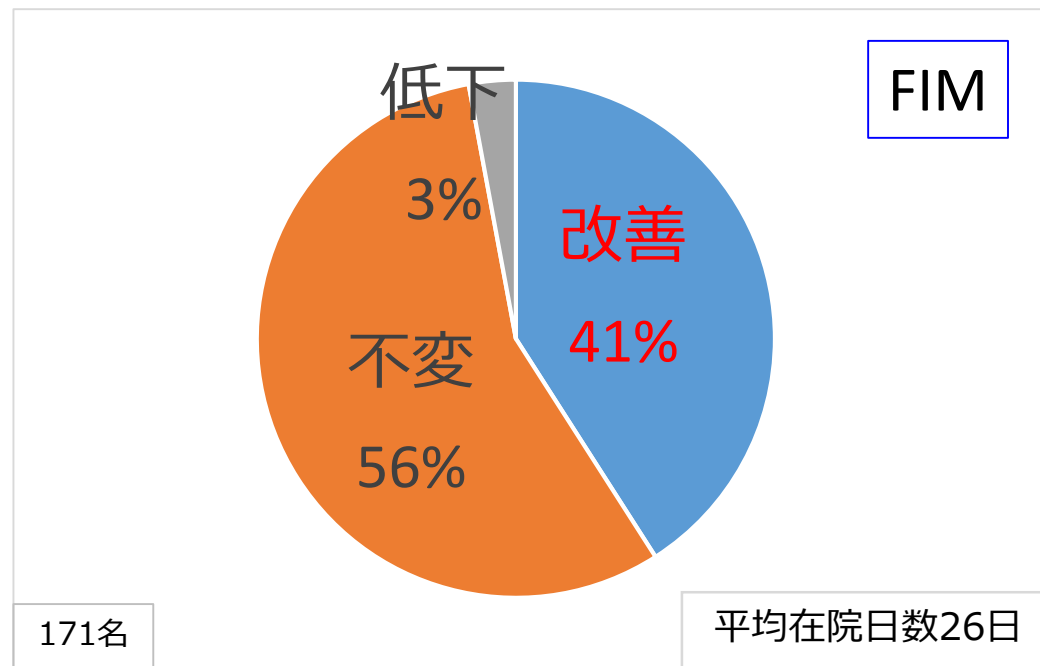
地域包括ケア病床患者のうち  
**89%**は、**自宅・高齢者施設**への退院

# 一般・地域包括ケア病床の入院患者のうち 自宅・高齢者施設へ退院した患者のADL評価

## 一般病床を退院した患者



## 地域包括病床を退院した患者



ADL改善を目指した医療・ケア提供の結果、ADLの改善があった患者は一般病床で**36%**、地域包括ケア病床で**41%**であった。回復期療養を支援する医療機関としての役割を果たすために、更に取り組みを強化する必要があると考えている。

# 病床再稼働により実施したいこと

## 地域の方々に安心できる医療を提供

急性期医療機関等からの回復期患者様の受け入れを積極的に実施する。

近隣の医療機関や高齢者施設から要請のある比較的緊急性の低い、軽～中等症の急性疾患に対応する。

リハビリテーションを強化し、退院後の療養に必要なADL獲得を支援する。

地域の在宅ケアチームと協働し、住み慣れた場所での療養を支援する。

消化器、循環器、血液疾患、緩和ケア、皮膚科疾患などの専門治療を実施する。